

様式第5号（第10条関係）

パブリックコメント実施結果報告書
【案件名：つくば市高齢者福祉計画（第9期）（案）】

令和6年（2024年）2月
つくば市福祉部高齢福祉課

■ 意見集計結果

令和5年12月8日から令和6年1月9日までの間、（つくば市高齢者福祉計画（第9期）（案））について、意見募集を行った結果、3人（団体を含む。）から6件の意見の提出がありました。これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考え方をまとめましたので、公表します。

提出方法別の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人数（団体を含む。）
直接持参	0人
郵便	0人
電子メール	0人
ファクシミリ	0人
電子申請	3人
合計	3人

■ 意見の概要及び意見に対する市の考え方

○ 第1部第2章1（4）人口推計 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	11ページ（4）人口推計、令和22年（2040年）の人口について、「28万人を超える見込みです」としているが、国立社会保障・人口問題研究所が令和5年12月22日に発表した『日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）』によると、つくば市の人口は26万人で頭打ちのようである。 人口推計は、高齢者人口も含め、将来展望ではなく最新且つ信頼できる推計を使用すべきと考える。	1件	国立社会保障・人口問題研究所（以下社人研という）は、社会保障政策や制度についての研究を行っている厚生労働省所属の国立の研究機関であり、提供されている人口推計は信頼できるものです。しかしながら、社人研の推計は、基本的に全国一律で同じ推計方法としており、当市におけるTX沿線地区の開発の影響など、地域の個別事情はあまり反映されていないため、当市の実情と一定の乖離が生じていることに鑑み、当計画では、より実態に沿った市独自の推計値を利用しています。

○ 第2部第3章2 高齢者の健康づくりと社会参加の支援 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	つくば市には公衆浴場がないため、高齢者が日常的に風呂に入れない。公衆衛生上も何週間も風呂に入れないと問題がある。震災の時やコロナの時も困った。高齢者は単独などで風呂に入ると清掃なども大変なのと倒れたときのこと考えると安心できない。	1件	市内3か所の老人福祉センター（桜、谷田部、荃崎）と市民研修センターの入浴施設については、市内在住の60歳以上の方は無料で御利用いただけます。また、つくばウェルネスパークの温浴施設についても、有料で利用可能となっています。いただいた御意見につきましては、高齢者の公衆衛生の保持増進のための施策の推進において、参考にさせていただきます。
2	高齢者の就労支援を行ってほしい。	1件	当市ではシルバー人材センターと連携し、高齢者が臨時又は短期的な就業の機会を得るための支援を行っています。高齢者の社会参加と生きがいづくり、高齢化に伴う、労働人口の減少への対応策として、高齢者の就労支援の在り方について、さらに検討を行っていきます。
3	高齢者スポーツにもeスポーツの導入ができないか。スポーツ課だけでなく高齢福祉課でも記載があった方が政策でも予算根拠などやりやすくなって、より一体的に市内の関係事業者、高齢者団体もしくは障害者団体などでも柔軟にそして密に大規模、小規模ともに動けるようになることが増えると思う。	1件	第2次つくば市スポーツ推進計画（案）に記載されているとおり、eスポーツの活用は、高齢者の介護予防や認知機能の低下予防のほか、孤立防止や活力増進が期待されています。今後はより庁内での連携を強化し、eスポーツの高齢者施策への活用について、検討を行っていきます。

○ 第2部第4章3 高齢者の移動手段の確保と買物支援の充実 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>タクシー助成券をガソリン補助や鉄道、バスなどの補助と選べる市町村も多いので、つくば市も検討してほしい。運転できなくなるとつくば市で住むのに非常に行動が狭まってしまう。</p>	1件	<p>当市では、高齢者タクシー運賃助成事業に加え、つくバス・つくタク等の運賃が半額になる高齢者運賃割引証の交付を行っています。また、福祉有償運送団体及びボランティア輸送団体の支援を実施し、高齢者の移動支援の担い手育成を行っています。今後も高齢者の多様な移動手段の確保のための施策について検討を進めていきます。</p>
2	<p>ネットスーパーや移動スーパー、スーパー配送、飲食店宅配などについて、事業者などに助成してより進めてほしい。</p>	1件	<p>当市では、身近な商店の減少や高齢化等により、日常生活に必要な食料品及び日用雑貨品等の買物が困難な状況に置かれた高齢者等を支援するため、移動スーパーの巡回を実施しています。また、安否確認を目的とした宅配食事サービスや乳製品の配達も実施しています。今後の買物支援の充実のため、御意見を参考にさせていただきます。</p>

■ 修正の内容

パブリックコメントによるものではありませんが、以下の項目について修正しました。

○ 冒頭 市長挨拶 について
冒頭に市長挨拶文を掲載しました。

○ 第1部第1章 3計画の策定体制 について
語句を修正しました。

修正前	修正後
<p>P5 (3) パブリックコメントの実施</p> <p>より多くの市民の意見を反映させるため、令和5年12月8日から令和6年1月9日までパブリックコメントを<u>実施</u>します。</p>	<p>P5 (3) パブリックコメントの実施</p> <p>より多くの市民の意見を反映させるため、令和5年12月8日から令和6年1月9日までパブリックコメントを<u>実施</u>しました。</p>

○ 第1部第2章 1統計からみた本市の状況 について
グラフ内の数値を最新のものに修正しました。また、数値の修正に伴い表の説明文を一部修正し、脚注（「※令和5年度はR5.10暫定値」）を削除しました。また、一部誤りの修正等を行いました。

修正前	修正後
<p>P11 (4) 人口推計</p> <p>令和12年から令和21年の数値を省略する旨の記載なし。</p>	<p>P11 (4) 人口推計</p> <p>令和12年から令和21年の数値の省略を示すため、グラフ中の令和11年と令和22年の間に、(省略)と記載しました。</p>
<p>P13 (5) 認知症高齢者数の推移</p> <p>要支援・要介護認定者数のうち認知症自立度Ⅱ以上の推移をみると、平成30年から<u>令和4年</u>までで<u>約200人</u>増加しています。</p>	<p>P13 (5) 認知症高齢者数の推移</p> <p>要支援・要介護認定者数のうち認知症自立度Ⅱ以上の推移をみると、平成30年から<u>令和5年</u>までで<u>約300人</u>増加しています。</p>

<p>令和2年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>自立度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I</td> <td><u>1,522</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>令和5年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>自立度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I</td> <td><u>1,551</u></td> </tr> <tr> <td>Ⅱ a</td> <td><u>918</u></td> </tr> <tr> <td>Ⅱ b</td> <td><u>1,404</u></td> </tr> <tr> <td>Ⅲ a</td> <td><u>1,226</u></td> </tr> <tr> <td>Ⅲ b</td> <td><u>322</u></td> </tr> <tr> <td>Ⅳ</td> <td><u>618</u></td> </tr> <tr> <td>M</td> <td><u>81</u></td> </tr> <tr> <td>Ⅱ以上合計</td> <td><u>4,569</u></td> </tr> </tbody> </table>	自立度	人数	I	<u>1,522</u>	自立度	人数	I	<u>1,551</u>	Ⅱ a	<u>918</u>	Ⅱ b	<u>1,404</u>	Ⅲ a	<u>1,226</u>	Ⅲ b	<u>322</u>	Ⅳ	<u>618</u>	M	<u>81</u>	Ⅱ以上合計	<u>4,569</u>	<p>令和2年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>自立度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I</td> <td><u>1,521</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>令和5年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>自立度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I</td> <td><u>1,612</u></td> </tr> <tr> <td>Ⅱ a</td> <td><u>951</u></td> </tr> <tr> <td>Ⅱ b</td> <td><u>1,447</u></td> </tr> <tr> <td>Ⅲ a</td> <td><u>1,256</u></td> </tr> <tr> <td>Ⅲ b</td> <td><u>323</u></td> </tr> <tr> <td>Ⅳ</td> <td><u>642</u></td> </tr> <tr> <td>M</td> <td><u>85</u></td> </tr> <tr> <td>Ⅱ以上合計</td> <td><u>4,704</u></td> </tr> </tbody> </table>	自立度	人数	I	<u>1,521</u>	自立度	人数	I	<u>1,612</u>	Ⅱ a	<u>951</u>	Ⅱ b	<u>1,447</u>	Ⅲ a	<u>1,256</u>	Ⅲ b	<u>323</u>	Ⅳ	<u>642</u>	M	<u>85</u>	Ⅱ以上合計	<u>4,704</u>
自立度	人数																																												
I	<u>1,522</u>																																												
自立度	人数																																												
I	<u>1,551</u>																																												
Ⅱ a	<u>918</u>																																												
Ⅱ b	<u>1,404</u>																																												
Ⅲ a	<u>1,226</u>																																												
Ⅲ b	<u>322</u>																																												
Ⅳ	<u>618</u>																																												
M	<u>81</u>																																												
Ⅱ以上合計	<u>4,569</u>																																												
自立度	人数																																												
I	<u>1,521</u>																																												
自立度	人数																																												
I	<u>1,612</u>																																												
Ⅱ a	<u>951</u>																																												
Ⅱ b	<u>1,447</u>																																												
Ⅲ a	<u>1,256</u>																																												
Ⅲ b	<u>323</u>																																												
Ⅳ	<u>642</u>																																												
M	<u>85</u>																																												
Ⅱ以上合計	<u>4,704</u>																																												
<p>P14 （6）要支援・要介護認定者数の推移</p> <p>本市の要支援・要介護認定者数は、平成30年から令和4年までで約300人増加しています。要介護度別でみると、要支援1が最も多く増加しています。</p> <p>令和5年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>要介護度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要支援1</td> <td>914</td> </tr> <tr> <td>要支援2</td> <td>979</td> </tr> <tr> <td>要介護1</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>要介護2</td> <td>1,599</td> </tr> <tr> <td>要介護3</td> <td>1,179</td> </tr> <tr> <td>要介護4</td> <td>959</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>650</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,080</td> </tr> </tbody> </table>	要介護度	人数	要支援1	914	要支援2	979	要介護1	1,800	要介護2	1,599	要介護3	1,179	要介護4	959	要介護5	650	合計	8,080	<p>P14 （6）要支援・要介護認定者数の推移</p> <p>本市の要支援・要介護認定者数は、平成30年から令和5年までで約500人増加しています。要介護度別でみると、要支援1が最も多く増加しています。</p> <p>令和5年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>要介護度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要支援1</td> <td>915</td> </tr> <tr> <td>要支援2</td> <td>980</td> </tr> <tr> <td>要介護1</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>要介護2</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>要介護3</td> <td>1,180</td> </tr> <tr> <td>要介護4</td> <td>961</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>652</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,088</td> </tr> </tbody> </table>	要介護度	人数	要支援1	915	要支援2	980	要介護1	1,800	要介護2	1,600	要介護3	1,180	要介護4	961	要介護5	652	合計	8,088								
要介護度	人数																																												
要支援1	914																																												
要支援2	979																																												
要介護1	1,800																																												
要介護2	1,599																																												
要介護3	1,179																																												
要介護4	959																																												
要介護5	650																																												
合計	8,080																																												
要介護度	人数																																												
要支援1	915																																												
要支援2	980																																												
要介護1	1,800																																												
要介護2	1,600																																												
要介護3	1,180																																												
要介護4	961																																												
要介護5	652																																												
合計	8,088																																												
<p>P14 （7）要支援・要介護認定者数の推計 令和12年から令和16年、令和18年か</p>	<p>P14 （7）要支援・要介護認定者数の推計 令和12年から令和16年、令和18年か</p>																																												

<p>ら令和 21 年の数値を省略する旨の記載なし。</p>	<p>ら令和 21 年の数値の省略を示すため、グラフ中の令和 11 年と令和 17 年の間、令和 17 年と令和 22 年の間に、(省略)と記載しました。</p>
<p>P18 (9) 日常生活圏域別の高齢者の状況</p> <p>○日常生活圏域別の通いの場の状況 <u>高齢者いきいきサロン数</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大穂圏域 <u>7</u> ・豊里圏域 <u>5</u> ・谷田部東圏域 <u>17</u> ・谷田部西圏域 <u>12</u> ・荃崎圏域 <u>14</u> <p>高齢者憩いの広場数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊里圏域 <u>0</u> <p>○日常生活圏域別事業所数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援 桜圏域 <u>10</u>、谷田部西圏域 <u>8</u> ・訪問看護 桜圏域 <u>8</u> ・通所介護 筑波圏域 <u>5</u>、桜圏域 <u>9</u>、谷田部東圏域 <u>9</u> ・短期入所生活介護 豊里圏域 <u>2</u>、谷田部東圏域 <u>4</u> ・地域密着型通所介護 筑波圏域 <u>0</u>、桜圏域 <u>5</u>、谷田部東圏域 <u>1</u> ・介護老人福祉施設 谷田部東圏域 <u>3</u> 	<p>P18 (9) 日常生活圏域別の高齢者の状況</p> <p>○日常生活圏域別の通いの場の状況 <u>ふれあいサロン数</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大穂圏域 <u>9</u> ・豊里圏域 <u>6</u> ・谷田部東圏域 <u>18</u> ・谷田部西圏域 <u>13</u> ・荃崎圏域 <u>15</u> <p>高齢者憩いの広場数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊里圏域 <u>1</u> <p>○日常生活圏域別事業所数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援 桜圏域 <u>9</u>、谷田部西圏域 <u>9</u> ・訪問看護 桜圏域 <u>9</u> ・通所介護 筑波圏域 <u>4</u>、桜圏域 <u>8</u>、谷田部東圏域 <u>8</u> ・短期入所生活介護 豊里圏域 <u>3</u>、谷田部東圏域 <u>3</u> ・地域密着型通所介護 筑波圏域 <u>1</u>、桜圏域 <u>6</u>、谷田部東圏域 <u>2</u> ・介護老人福祉施設 谷田部東圏域 <u>2</u>
<p>P20 (11) 日常生活圏域別高齢者数の推計 日常生活圏域別高齢者数の推計をみると、<u>「荃崎圏域」では約 520 人、「桜圏域」、「谷田部東圏域」では、それ</u></p>	<p>P20 (11) 日常生活圏域別高齢者数の推計 日常生活圏域別高齢者数の推計をみると、<u>「荃崎圏域」、「桜圏域」では、それぞれ約 500 人の増加が見込まれま</u></p>

それぞれ約 500 人の増加が見込まれます。す。

- 第 2 部第 1 章 1 地域包括支援センター等の相談窓口や情報提供の充実 について
語句を修正しました。

修正前	修正後
P78 (4) 介護・福祉サービスの情報提供 ・相談体制の充実 5 介護サービス相談員派遣事業 介護サービスを提供している事業所 に、介護相談・地域づくり連絡会が主 催する介護サービス相談員養成研修を 受講した相談員を派遣し、	P78 (4) 介護・福祉サービスの情報提供 ・相談体制の充実 5 介護サービス相談員派遣事業 介護サービスを提供している事業所 に、 <u>介護サービス</u> 相談・地域づくり連 絡会が主催する介護サービス相談員養 成研修を受講した相談員を派遣し、

- 第 2 部第 3 章 2 高齢者の健康づくりと社会参加の支援 について
指標と単位の誤りを修正しました。

修正前	修正後
P107 (2) 社会参加と生きがいのづくりの推 進 【指標】 指標：いきいきサロン <u>登録者数</u> （出前 サロン） 単位： <u>人</u>	P107 (2) 社会参加と生きがいのづくりの推 進 【指標】 指標：いきいきサロン <u>実施回数</u> （出前 サロン） 単位： <u>回</u>

- 第 2 部第 7 章 1 サービスごとの給付実績の推移と推計 について
表中において、最新の基準日にて推計値を修正しました。

修正後箇所	
P134 から P139	(1) 居宅サービス
P140 から P142	(2) 地域密着型サービス
P144	(3) 施設サービス

- 第 2 部第 7 章 2 日常生活圏域ごとの整備状況 について
地域密着型通所介護の事業所数の増加があったため、表及び市内介護保険施設の
分布図を修正しました。それに伴い、通し番号も修正しました。

修正前	修正後
P147、148 (表及び分布図内) 記載なし	P147、148 (表及び分布図内) 地域密着型通所介護 <u>1</u> 名称 <u>デイケアホーム飯田医院つくばの里</u> 法人名 <u>医療法人 筑峰会</u> 日常生活圏域 <u>筑波圏域</u> 定員 <u>18</u> 圏域定員 <u>18</u> <u>9</u> 名称 <u>地域密着型デイサービスセンターはなみずき</u> 法人名 <u>社会福祉法人 筑竜会</u> 日常生活圏域 <u>谷田部東圏域</u> 定員 <u>15</u> 圏域定員 <u>25</u>

○ 第2部第7章 3介護（予防）給付費等の推移と推計 について表中において、最新の基準日にて推計値を修正しました。また、数値の修正に伴い、表の説明文を一部修正し、脚注（「※令和5年12月1日の暫定値です。」）を削除しました。

修正後箇所	
P152	(1) 介護給付費の推移
P153	(2) 介護給付費の見込額
P154	(3) 介護予防給付費の推移
P155	(4) 介護予防給付費の見込額
P156	(5) 保険給付額全体の見込額

○ 第2部第8章 介護保険料の見込額 について「第8章介護保険料の見込額」を設けました。

○ 資料編 2つくば市高齢者福祉計画（第9期）策定経過 についてパブリックコメント以降の協議事項・内容等について修正しました。

修正前	修正後
P168	P168

<p>令和5年度 月日 12月8日～1月9日 項目 パブリックコメント実施 協議事項・内容等 <u>※予定</u></p> <p>月日 2月1日 項目 第6回つくば市高齢者福祉推進 会議 協議事項・内容等 <u>※予定</u></p>	<p>令和5年度 月日 12月8日～1月9日 項目 パブリックコメント実施 協議事項・内容等</p> <p>月日 2月1日 項目 第6回つくば市高齢者福祉推進 会議 協議事項・内容等 <u>つくば市高齢者福 祉計画（第9期）（案）について</u></p>
---	--